

Case 20-2010: A 32-Year-Old Woman with Oligomenorrhea and Infertility

(New England Journal of Medicine 2010;363:178-86)

- #1 稀発月経、(不妊)
- #2 エストロゲン低値
- #3 FSH 低値
- #4 黄体期プロゲステロン低値
- #5 クロミフェン(抗エストロゲン剤)負荷試験不応
- #6 右卵巣多発単嚢胞
- #7 痤瘡
- #8 顔面の多毛
- #9 黒色表皮腫
- #10 多発 skin tags
- #11 反対咬合
- #12 左前頭洞炎
- #13 妊娠糖尿病、耐糖能低下継続
- #14 空腹時インスリン軽度高値
- #15 体重増加、過体重
- #16 膝、肩、両手の慢痛み、こわばり
- #17 両手のしびれ、刺痛
- #18 いびき・疲労感・日中の眠気

NEJM 勉強会 2011 年度第 6 回 2011 年 5 月 25 日 担当：原島沙季

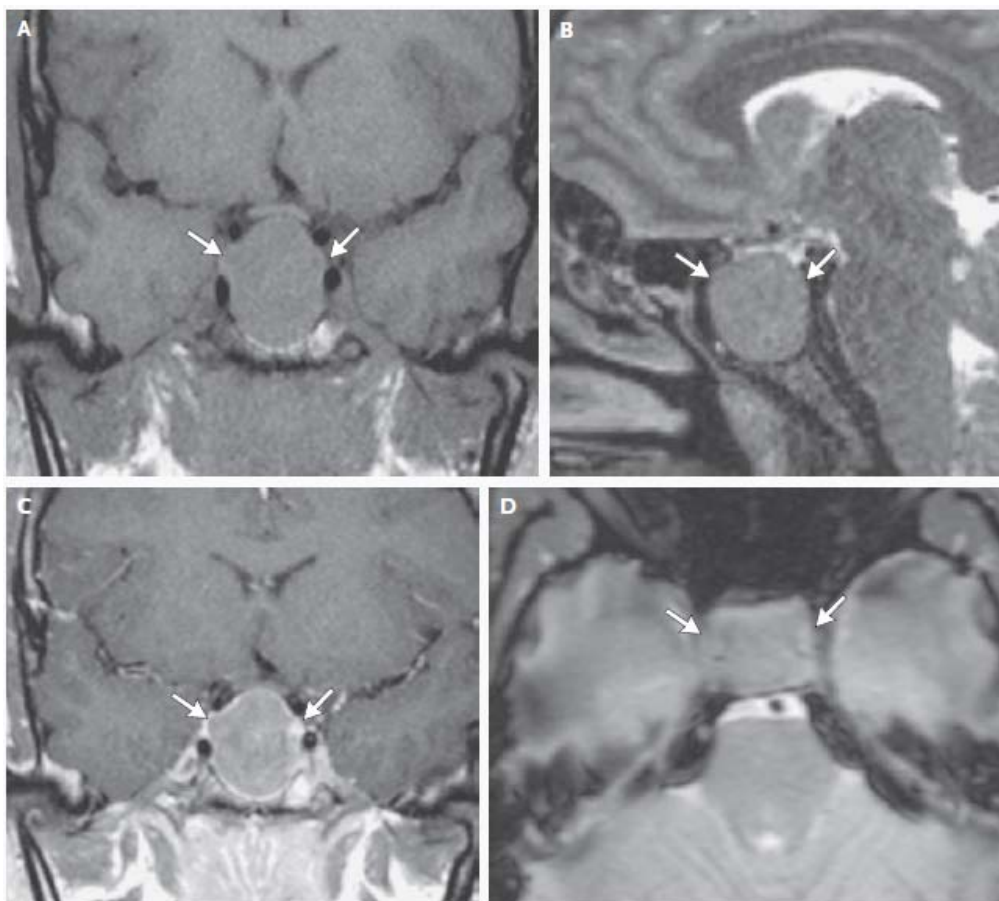
Case 20-2010: A 32-Year-Old Woman with Oligomenorrhea and Infertility

(New England Journal of Medicine 2010;363:178-86)

[MRI]

34 歳時、前頭部の頭痛・鼻漏が続き、副鼻腔炎の精査のため CT を撮影したところ、偶発的にトルコ鞍に病変が確認された。MRI を撮影したところ、 $2.8 \times 2.4 \times 2.4\text{cm}$ 大の T1・T2 強調画像で灰白質と等信号の mass(造影剤で斑状の造影効果)が認められ、鞍上部まで進展、視交叉を軽度圧迫していた。右海綿静脈洞の浸潤も疑われる。頭蓋骨は肥厚し、前頭洞の著名な拡大を認めた。

32 歳時(妊娠中)に撮影し、左前頭洞炎のみが指摘されていた頭部 CT を再度確認したところ、トルコ鞍の拡大が存在していた。



19 MRI 上のトルコ鞍の mass

20 頭蓋骨肥厚

21 前頭洞の拡大